



よしだつうしん

# 吉田通信

第13号  
【2015年10月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆注文伝票に書いてあったのは…◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第13号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、私の家の近所の住宅街にポツンとあるのに、いつもお客さんでいっぱい「三華」という中華料理の食堂に、先日、お昼を食べに行ってきた時のお話です。

その日、私は昼過ぎ1時から仕事の約束が入っていて、あまり時間はない状況でした。混んでるのはわかっていたのですが、「三華」の料理を求める胃袋の要求に屈してしまいました。案の定、お店はすでに満席状態だったのですが、タイミング良く空いたカウンターの席につきました。

私は、店員さんに「ちょっと急いでいますので、どれだったら早く出てきますか？」と聞いて、「日替わり定食と麺類も早いです」とのこと、中でも店員さんおすすめの「うま煮ラーメン」を注文しました。私は、満席だしカウンターの両隣の人の料理もまだ出てこないで、お店の新聞を読んで待っていました。すると、ものの5分もしないうちに、うま煮ラーメンが出てきたのです！！あまりの早さに私はびっくり！！しかも、私の両隣の方の料理はまだです…（汗）。

私は、両隣の方に申し訳ないなあと思いつつ、うま煮ラーメン美味しいなあと完食。これでお約束の時間もバッチリ守ることができると思いながら、お勘定をするためにその注文伝票を見て私はハッとしました。その注文伝票には「忙ぎ」（“急ぎ”の間違いだと思いましたが、気持ちはすごく伝わります）と書いてあったのです。私は「すごい」と感心しました。

急ぎとはわかっている、なんだかんだ先にいるお客さんが優先だったりするのが一般的だと思いますが、「三華」の店員さんや厨房の方たちは私が本当に急いでいたことを汲み取り、対応してくださったのです。やはり、繁盛しているお店というのは、味だけでも値段だけでなく店員さんや働く方のそういった素晴らしい対応や心遣いがあるんだなあと思えました。当社もまた来たい！ここで買いたい！と思われる対応ができる社員や体制を作っていくにはどうすればいいか、と強く感じたランチでした。



## ◆発行者コラム◆

今回も最後までお読みいただきどうも有り難うございました。さて、今年もまた10月に社員といっしょに7～8人で会津に行ってきます。会津塗の漆林で下草刈りのボランティア（今年で4回目）です。そして、そこでの楽しみはなんといっても“芋煮”！下草刈りをした後にいただく芋煮は本当に美味しいです。また、今年にはさらにご地元の“そば祭り”にも行ってきます。個人的にはとても楽しみにしている10月のイベントです（笑）。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史